平成 30 年 2 月

固定資産税課長
資産税課長
税務課長
課税課長
県税事務所長 殿

一般社団法人 日本経営協会
常務理事・中部本部長　大久保　若穂

計算演習中心の実践的講座！

ＮＯＭＡ行政管理講座（名古屋）開催のご案内　　＜平成 30 年 6 月 13 日・14 日開催＞

木造家屋の評価基礎実務（演習）

～新任担当者の皆様が実践的な演習を通じて評価計算を学べる講座！～

拝啓　時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
固定資産税は土地、家屋及び償却資産に対し、原則その価格を課税標準として、その所有者に課されるものです。課税標準の基礎である価格は適正な時価であるとされており、それは総務大臣が定める固定資産評価基準によって納税者に税負担を求める基礎となる評価額を決定するものであり、適正、公平な評価計算をしなければなりません。
そこで今回、家屋評価を体系的に理解することはもちろんのこと、説明責任を果たし、プロとして評価計算ができるよう、事例演習を交えながら評価計算について学ぶ標記講座を開催いたします。
公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申し上げます。　　敬具

◆本講座のねらい◆　～ 事例で学ぶ家屋評価演習～

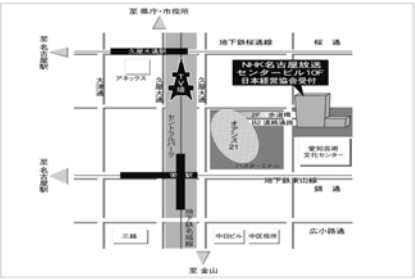
- 短時間で、木造家屋の仕組みについて要点をおさえて解説します。
- 「事例」木造家屋の評点付設の基本から補正係数の算出までを、システムでない手計算で評価計算できるようしっかりと解説します。
- 部分別の写真、図をプロジェクターで投影・解説しながら評価計算します。
- 平面図、調査確認事項等により一棟の単位当たり再建築費評点数を算出します。
- 知っておきたい事例を用いて、新築住宅減額の徹底研究について学びます。
- 納税者への説明責任を果たす力をつけ、明日から実地調査・評価計算ができます。

記

日 時：平成 30 年 6 月 13 日(水) 13:00～17:00
14 日(木)　9:30～16:30(計・2 日 10H)
会 場：NHK 名古屋放送センタービル内教室
講 師：小川正己税理士事務所 税 理 士　　小川 正己 氏
参加料(負担金 1名につき)：

	負担金	消費税等	合 計
NOMA会員	29,000 円	2,320 円	31,320 円
一　　般	32,000 円	2,560 円	34,560 円

申込方法：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX等で下記へお申し込みください。折り返し、「参加券」と「振込口座名を記載した請求書」を、ご派遣責任者宛にお送りします。



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

【名古屋開催　固定資産税関連講座　ご案内】

①やさしい家屋評価の基礎と課税の実務（5 月 23 日～24 日開催）
②非木造家屋の評価基礎実務(演習)（6 月 19 日～21 日開催）
③小規模非木造家屋の評価基礎実務(演習)（7 月 4 日～5 日開催）
④固定資産税(償却資産)の課税と調査実務（8 月 2 日～3 日開催）

・電話予約も受け付けております。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。
・負担金は原則開催日の 3 営業日前までに銀行振込にてお納めください。経理処理等の都合で遅れる場合は事前にご連絡ください。
・ご参加申込の方のご都合が悪くなられた場合は、代理の方にご出席いただきますようお願いいたします。
・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきます。必要な場合はご連絡ください。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3 営業日前まで)にご連絡下さい。
開催日の 3 営業日前～前日までのキャンセルは受講料の 30%、開催日当日のキャンセルは 100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

ご宿泊(ご参考)：本会では宿泊手配(予約)はいたしませんので、直接ホテルへお申込みくださいますようお願いいたします。
※ご予約の際に、日本経営協会からの紹介であることをお申し出いただきますと、宿泊料金の割引がございます
※ホテルの宿泊料・割引等は事前にフロントにお確かめください(時期によって変動がございます)

ホテル名	通常シングル客室料金(参考)	交　通	ホテル電話
東京第一ホテル錦	11,000 円～13,000 円(15～20%割引有)	地下鉄栄駅より徒歩 3 分	052-955-1001
ベストウェスタンホテル名古屋	7,000 円～	地下鉄栄駅より徒歩 4 分	052-263-3411

(注)ホテルの宿泊料・割引等は事前にフロントにお確かめください。

お問合せ：一般社団法人日本経営協会　中部本部　企画研修グループ〈担当：江尻・里見〉
お申込先　〒461-0005　名古屋市東区東桜 1-13-3　NHK 名古屋放送センタービル 10F
TEL (052)957-4172　FAX (052)952-7418　ホームページ　http://www.noma.or.jp/chubu/
※お問合せは、平日の9:15～17:15にお願いいたします。

◆講義項目◆

※この講座は庁内でも実施できます。担当までご一報ください。

Ⅰ　部分別の解説

1　屋根（和小屋組、洋小屋組について）
2　基礎（基礎工事の種類について）
3　外壁（平面の形状、開口部の多少について）
4　柱・壁体（柱と土台の組み合わせについて）
5　内壁（間仕切りの多少と基礎の関係、開口部の多少について）
6　天井
7　床（床組・床仕上について）
8　建具（標準量および上・中・並の判定）
9　建築設備（総合評点方式の比例計算および項目別評点方式について）
10　冷暖房設備（ビルトイン方式・ダクト併用方式）
11　仮設工事
12　その他工事（雑工事～床の間まで）

Ⅱ　平成 30 基準年度の改正事項と異議申し立てについて

Ⅲ　木造家屋（個別事例の留意すべき評価計算）

1　吹き抜けのある家屋について
2　階段部分の床面積の算定
3　階段部分の評価計算（仕上も含む）
4　バルコニー・ルーフバルコニーの評価計算
5　「雑工事」の評点付設
6　「床の間」の評点付設
7　「仮設工事」（水盛・遣り方、高さの補正）

Ⅳ　補正計算の必要性

1　比例計算（増点補正と減点補正の算出方法）
2　基礎の補正に関連する部分別は何か
3　柱と土台の関係
4　1.5m 未満のロフトがあった場合の「施工量の多少」の補正方法
　・計算単位の延べ床面積にロフト部分を算入しない場合
　・計算単位の延べ床面積にロフト部分を算入する場合
5　床仕上について（階段部分）
6　スイッチ、コンセント、照明器具の数え方
7　給水・給湯管と使用口の数え方
8　給湯器（追い焚き機能の有無）の評点付設
9　換気設備の評価について
10　その他

Ⅴ　評価演習（専用住宅）

平面図、調査確認事項による一棟の再建築費評点数の算出

Ⅵ　事例研究（演習）

新築された住宅に対する固定資産税の減額について

※講義中は名札をご着用いただきます※

◆講師紹介

税理士　小川　正己　氏

2005 年　東京都（主税局）退職
同　年　小川正己税理士事務所開設

◆講師メッセージ

一昨年、昨年と、固定資産税について、ある出版物が発刊されその中で大きな問題となっている「地域間での評価の不均衡」、「不透明な課税算定プロセス」等が納税者には理解しにくいものになっているとの指摘があります。

家屋評価についての重要性が増しています。木造家屋の評価が家屋評価の基本です。

そこで本講座は、短時間で集中的に行い新任担当者の方が、明日からでも納税者に説明責任を果たし、プロとして評価計算ができる講座となっております。

※当日は、「H30 単位当たり標準評点数の積算基礎」・「H30 固定資産（家屋）評価基準・再建築費評点基準表」（いずれも地方財務協会　刊）の書籍 2 冊と電卓及び三角スケールを必ずご持参ください。

日本経営協会・中部本部　行　　**FAX（052）952－7418**

□日本経営協会会員　□ 一般　（該当する方にレ点をつけて下さい）

60010351「木造家屋の評価基礎実務（演習）」参加申込書　　H30/6. 13-14

ふりがな 団体名		Tel Fax	（　　）　－ （　　）　－	ご派遣責任者 所属・役職名
所在地	〒			氏名 印
No.	フリガナ 参加者氏名	所属・役職	担当 経験年数	メールアドレス
			年 月	
			年 月	＜通信欄＞
			年 月	

※御請求書の宛名についてお知らせください【□　団体名と同じ・　□異なる（宛名　　）】
※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
① 参加券や請求書の発送などの事務処理　② セミナー運営　③ セミナーなど本会事業のご案内
お申込時点で趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。なお③がご不要の場合は、右□をチェックしてください。 □